

平成30年10月29日付【水道産業新聞】
関西支部<30年技術講座開く>
管路マネジメントテーマに

管路マネジメントテーマに

水コン協 関西支部 30年度技術講座開く



岩崎室長

平成30年度関水コン
(全国上下水道コンサル
タント協会関西支部)技
術講座「下水道事業にお

ける管路マネジメント」
下水道管路を対象とした
総合マネジメント並びに
ストックマネジメントの
事例紹介」が、吹田市
内で会員、関西地区の下
水道事業者関係者など80
人を集めて開催された。
国土交通省国土技術政
策総合研究所の岩崎宏和
・下水道研究室長は「下

水道管路マネジメントに
ついて」と題して、▽管
路施設の現状(粗資本ス
トック98兆円)▽管路の
老朽化状況(50年超の老
朽管は現状0・03%で
あるが今後急増)▽下水
管路起因の道路陥没件数
(年間3300件)▽計
画的な維持管理に向けた
対策▽健全率予測式▽調
査の効率化に向けた技術
―などを説明した。

管路の総合マネジメン
トに向けての今後の方向
性として「BIM/CI
Mの導入、普及を軸とし
た『スマート建設生産シ
ステム』の構築」、インフ
ラデータの収集とAI解
析などによる「アセット
マネジメント技術」の開
発、「街づくりや国土の
強靱化に資する情報基盤
の構築『バーチャル・ジ
ャパン』などの取り組
みの必要性を強調した。

京都府環境部水環境対
策課の齋藤正明・副主査
は「持続的な下水道事業
の運営に向けて、ストッ
クマネジメントから始め
よう」とテーマに、京
都府の下水道の現状と課
題、SM計画簡易版の概
要、簡易版による府内で
の策定事例、策定事業体
の感想などを紹介した。